

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |            |        |           |
|----------------|------------|--------|-----------|
| ○事業所名          | 有永寮障害児通所支援 |        |           |
| ○保護者評価実施期間     | 2025/1/13  | ～      | 2025/1/31 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数) 19名 | (回答者数) | 18名       |
| ○従業者評価実施期間     | 2025/1/13  | ～      | 2025/1/31 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数) 4   | (回答者数) | 4         |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025/2/6   |        |           |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 職員(支援内容、対応)                                | ・丁寧な申し送りや会議を行い、統一した支援と情報共有を行っている。                               | ・丁寧な申し送りや会議を継続。<br>・目標管理制度で職員個人の支援技術の習得、学びなおしを重ねる。                   |
| 2 | 行事・活動の提供                                   | ・職員が世の中の動向に耳を傾けながら有永放課後の児童でも可能か否か、どんな配慮が必要か考え、それを職員間ですぐに共有している。 | 事業所内で完結する活動も充実させながら、社会参加にも視点を置き、その経験がより思い出と自信につながられるようにする。           |
| 3 | 幼児期、学童期、青年期、成人まで一貫した支援                     | 愛誠会利用児支援アドバイザーによる保護者向け講演会<br>成人分野施設との定期的な情報交換。                  | ・講演会の継続的な実施。<br>・保護者の要望に沿った講演内容<br>・進路や将来に関する情報提供<br>・法人内成人施設への見学、体験 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること     | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 情報発信力(事業所の取り組み、活動の狙い、支援内容、求められる情報が正確に伝わっていない。) | ・保護者とコミュニケーションをとる時間が限られている。<br>・ファミリーミーティングをやっていない。<br>・ブログの認知度が低い。 | ・システムを活用し、保護者が日ごろの子育ての合間にも確認できるようにする。<br>・ファミリーミーティングの実施。<br>・研修に参加し、人に伝えるスキルを磨く。<br>・オリジナリティのある活動提供と発信 |
| 2 | 地域との関係が進展していない。                                | ・SSTを行っているが、事業所内で済ませてしまっていることがある。<br>・地域の社会資源の利用頻度が減っている。           | ・SSTの「般化」を疑似体験で済ませず、社会に出て経験してもらうことを意識して活動を計画する。<br>・地域の社会資源の活用し、自事業所について知ってもらう。                         |
| 3 |  |   |   |